

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／資産複合 特化型	
信託期間	2020年4月10日まで（2015年5月8日設定）	
運用方針	<p>円建ての外国投資信託であるJリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス の投資信託証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券に実質的な投資を行います。また、当該外国投資信託への投資を通じて、実質的な保有円建て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行います（このため、基準価額は米ドルの対円で為替変動の影響を受けます。）。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。わが国の不動産株式およびリートの運用にあたっては、三菱UFJ国際投信の助言のもと、三菱UFJアセット・マネジメント（UK）が行います。また、為替取引の運用は、クレディ・スイス・マネジメン（ケイマン）リミテッドが行います。</p>	
主要運用対象	三菱UFJ Jリート 不動産株ファンド ＜米ドル投資型＞ （3ヵ月決算型）	Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス およびマネー・マーケット・マザー ファンドの投資信託証券を主要投資 対象とします。
	Jリート アンド リアルエステート エクイティファンド 米ドル・クラス	日本の不動産株式および不動産投資 信託証券を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・ マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象と します。外貨建資産への投資は行い ません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型です。特化型ファンドとは、投資対象に投資信託協会の規則に定める比率（10%）を超える支配的な銘柄が存在し、又は存在することとなる可能性が高いファンドです。
- ファンドは、わが国の不動産株式およびリートに実質的に投資します。わが国の不動産株式およびリートには、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

運用報告書(全体版)

三菱UFJ Jリート不動産株ファンド ＜米ドル投資型＞（3ヵ月決算型）

愛称：メトロポリス



第1期（決算日：2015年7月10日）

第2期（決算日：2015年10月13日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ Jリート不動産株ファンド＜米ドル投資型＞（3ヵ月決算型）（愛称：メトロポリス）」は、去る10月13日に第2期の決算を行いましたので、法令に基づいて第1期～第2期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

（9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取り引き内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目 次

三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型) のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇お知らせ	12

投資対象ファンドのご報告

◇Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス	14
◇マネー・マーケット・マザーファンド	16

「Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス」につきましては、現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		債権組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金配分	み騰落				
(設定日) 2015年5月8日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 3,117
1期(2015年7月10日)	9,397	0	△6.0	0.0	—	94.0	8,350
2期(2015年10月13日)	9,450	0	0.6	0.0	—	98.8	9,988

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、実質的な保有円建て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行い、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額	標準価額		債権組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
			騰落	騰落率			
第1期	(設定日) 2015年5月8日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	
	5月末	10,563	5.6	0.0	—	99.0	
	6月末	10,008	0.1	0.0	—	99.0	
	(期末) 2015年7月10日	9,397	△6.0	0.0	—	94.0	
	(期首) 2015年7月10日	9,397	—	0.0	—	94.0	
第2期	7月末	10,056	7.0	0.0	—	99.0	
	8月末	9,349	△0.5	0.0	—	99.1	
	9月末	8,894	△5.4	0.0	—	99.0	
	(期末) 2015年10月13日	9,450	0.6	0.0	—	98.8	
	(期首) 2015年10月13日	9,450	0.6	0.0	—	98.8	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は期首(設定日)比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

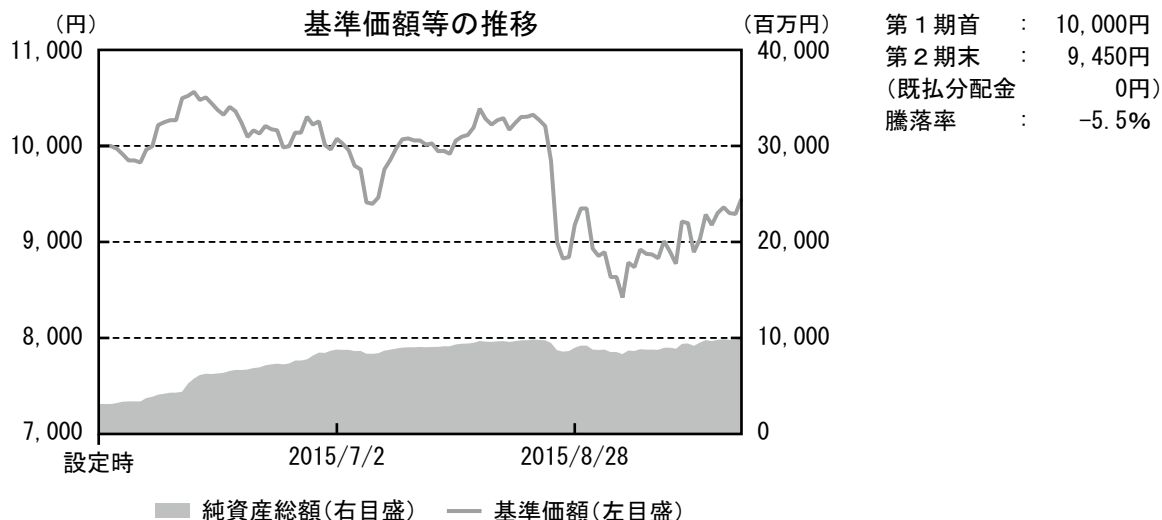
運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第1期～第2期：2015/5/8～2015/10/13)

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ5.5%の下落となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

不動産関連株式および国内リート市況の下落が基準価額の下落要因となりました。

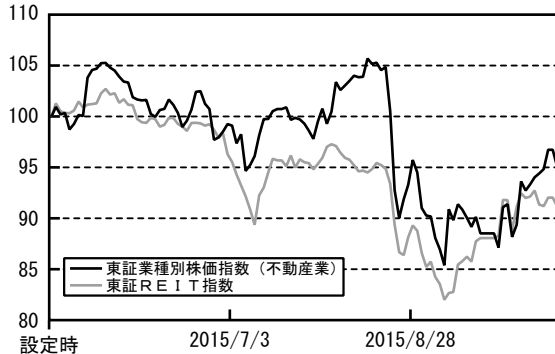
投資環境について

(第1期～第2期：2015/5/8～2015/10/13)

(ご参考)

不動産株式およびリート市況の推移

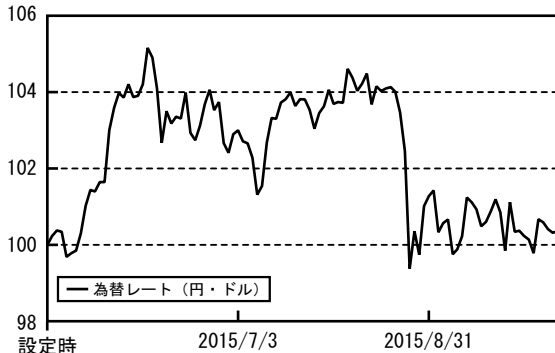
(設定時を100として指数化)



(注) 東証業種別株価指数(不動産業)は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄のうち、東証33業種の不動産業に区分される銘柄の値動きを示す株価指数です。東証業種別株価指数(不動産業)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、東証業種別株価指数(不動産業)の算出もしくは公表の方法の変更、東証業種別株価指数(不動産業)の算出もしくは公表の停止または東証業種別株価指数(不動産業)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。東証REIT指数とは、東京証券取引所に上場している不動産投資信託証券全銘柄を対象として算出した指数です。東証REIT指数の商標に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は東証REIT指数の内容の変更、公表の停止または商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。東京証券取引所は東証REIT指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対して、責任を負いません。

為替市況の推移

(設定時を100として指数化)



◎株式・リート市況

- ・ 設定時から2015年8月下旬にかけての不動産関連株式市況は、外国為替市場で円安・ドル高が進行したことや堅調な企業業績を背景に今後の空室率の低下や賃料の上昇が期待されたことなどから、一時上昇する局面もありましたが、ギリシャのデフォルト懸念の台頭や中国株式市況の下落などによる投資家心理の悪化を背景に、下落基調となりました。また国内リート市況においては、長期金利の上昇や相次ぐ公募増資が発表されたことなどから利益確定の売りに押される展開となり、下落基調となりました。
- ・ 9月上旬以降の不動産関連株式市況と国内リート市況は、日銀の追加金融緩和への期待や不動産市況の堅調な回復を背景に割安感から買い戻され、上昇基調で推移しました。

◎為替市況

- ・ 2015年8月の半ば頃までは、米国の堅調な経済指標を背景とした利上げ観測などから米ドルは対円で上昇しました。その後は、中国経済の減速を警戒したリスク回避的な動きから、米ドルは対円で下落しました。

◎国内短期金融市場

- ・設定以来の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年10月13日のコール・レートは0.076%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)>

当ファンドは、外国投資信託であるJリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラスを高位に組み入れた運用を行いました。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

<Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス>

基準価額は設定時に比べ4.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

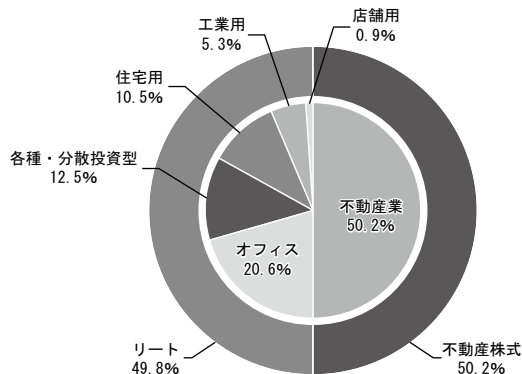
- ・わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式およびリートを主要投資対象とするとともに、保有円建て資産に対し円売り・米ドル買いの為替取引を行う運用を行いました。為替市況はほぼ横ばいとなったため、基準価額に与える影響は限定的となりました。
- ・投資する株式およびリートについては、東京圏における売上・収益依存が高い、あるいは今後の売上・収益の拡大が期待され、東京圏の経済活性化により恩恵を受けるかなどの観点で選別した不動産株式と、保有物件が主として東京圏にある国内リートの中から、将来のキャッシュフロー予測、保有不動産価値評価、業績予想などの分析に基づき、銘柄選定を行いました。
- ・投資行動として、設定後、速やかに銘柄の組み入れを行い、組入銘柄数は概ね55銘柄程度で推移させました。作成中には、賃料増額期待が見込まれるオフィス市況の恩恵を受ける東京建物やオフィス型リートの日本ビルファンド投資法人のウェイトを引き上げました。また、訪日外国人観光客の増加で恩恵を受ける日本空港ビルデングやホテルを保有するリートとしてインヴィンシブル投資法人などへの投資も行いました。
- ・当作成期は、不動産関連株式および国内リート市況の下落がマイナスとなり、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

下記は、三菱UFJアセット・マネジメント（UK）の資料（評価対象日基準：各ファンドへの実質的な反映日）に基づき作成した、Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンドの不動産株式およびリート部分の状況です。

(ご参考)

証券種別および業種／用途別構成比率

2015年9月末



(注) 比率は現物株式およびリート評価額に対する割合です。

(注) リートの用途はGICS（世界産業分類基準）、不動産株式の業種は東証33業種に基づいて分類しています。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は設定時に比べ0.01%の上昇となりました。

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益を獲得したことにより基準価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、実質的な保有円建て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行い、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期	第2期
	2015年5月8日～2015年7月10日	2015年7月11日～2015年10月13日
当期分配金	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	40	102

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)>

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針に基づき、外国投資信託への投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式およびリートを高位に組み入れた運用を行います。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

<Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス>

◎運用環境の見通し

- ・今後の不動産関連株式および国内リート市況は、長期金利の動向や海外情勢などに注意が必要ですが、日銀の金融緩和姿勢が堅持されると見込まれることや、一部エリアで空室の減少に加え賃料相場も底打ちないし反転し、市況回復へ向けた動きが広がりつつあることなどから、中期的に堅調に推移すると予想されます。またリート各社の業績については、物件取得による収益寄与に加えて、オフィス中心に賃料値上げが徐々に浸透しつつあり、増益への期待や分配金の安定感も増していることから、引き続き投資妙味はあると考えます。

◎今後の運用方針

- ・東京圏の経済活性化の恩恵を受ける不動産株式や、保有物件が主として東京圏にある国内リートの中から、将来のキャッシュフロー予測、保有不動産価値評価、業績予想の分析に基づき、業績が安定的かつバリュエーション（投資価値基準）面で割安感のある銘柄への投資を中心に行います。
- ・なお、保有円建て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行います。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年5月8日~2015年10月13日)

項 目	第1期~第2期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 50	% 0.514	(a)信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.174)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.328)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.012)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	50	0.515	
作成期中の平均基準価額は、9,774円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年5月8日～2015年10月13日)

投資信託証券

銘柄		第1期～第2期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	Jリートアンドリアルエステートエクイティファンド米ドル・クラス	千口 1,089	千円 10,926,593	千口 35	千円 335,360

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第1期～第2期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 3,063	千円 3,120	千口 -	千円 -

○利害関係人との取引状況等

(2015年5月8日～2015年10月13日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型) >

該当事項はございません。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

区分	第1期～第2期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 27,466	百万円 11,199	% 40.8	百万円 4,100	百万円 2,100	% 51.2
現先取引(公社債)	76,002	5,000	6.6	73,002	5,000	6.8

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2015年10月13日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第2期末		
		口数	評価額	比率
		千口	千円	%
Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス		1,053	9,865,557	98.8
合	計	1,053	9,865,557	98.8

(注) 比率は三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型) の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第2期末	
		口数	評価額
		千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド		3,063	3,120

○投資信託財産の構成

(2015年10月13日現在)

項	目	第2期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		9,865,557	98.5
マネー・マーケット・マザーファンド		3,120	0.0
コール・ローン等、その他		147,956	1.5
投資信託財産総額		10,016,633	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項	目	第1期末	第2期末
		2015年7月10日現在	2015年10月13日現在
		円	円
(A)	資産	8,362,988,490	10,016,633,706
	コール・ローン等	176,208,605	147,955,604
	投資信託受益証券(評価額)	7,848,299,596	9,865,557,557
	マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	3,120,000	3,120,307
	未収入金	335,360,000	—
	未収利息	289	238
(B)	負債	12,691,622	28,248,959
	未払信託報酬	12,659,273	28,176,939
	その他未払費用	32,349	72,020
(C)	純資産総額(A-B)	8,350,296,868	9,988,384,747
	元本	8,886,418,870	10,569,681,321
	次期繰越損益金	△ 536,122,002	△ 581,296,574
(D)	受益権総口数	8,886,418,870口	10,569,681,321口
	1万口当たり基準価額(C/D)	9,397円	9,450円

○損益の状況

項 目	第1期	第2期
	2015年5月8日～ 2015年7月10日	2015年7月11日～ 2015年10月13日
(A) 配当等収益	34,905,060	86,590,139
受取配当金	34,864,273	86,559,444
受取利息	40,787	30,695
(B) 有価証券売買損益	△704,075,120	△24,276,702
売買益	△56	148,153
売買損	△704,075,064	△24,424,855
(C) 信託報酬等	△12,691,622	△28,248,959
(D) 当期損益金(A+B+C)	△681,861,682	34,064,478
(E) 前期繰越損益金	—	△678,542,259
(F) 追加信託差損益金	145,739,680	63,181,207
(配当等相当額)	(14,214,333)	(28,078,302)
(売買損益相当額)	(131,525,347)	(35,102,905)
(G) 計(D+E+F)	△536,122,002	△581,296,574
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△536,122,002	△581,296,574
追加信託差損益金	145,739,680	63,181,207
(配当等相当額)	(14,214,337)	(28,078,302)
(売買損益相当額)	(131,525,343)	(35,102,905)
分配準備積立金	22,213,556	80,453,179
繰越損益金	△704,075,238	△724,930,960

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 設定元本額 3,117,656,404円
 作成期中追加設定元本額 7,501,696,457円
 作成期中一部解約元本額 49,671,540円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9450円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は581,296,574円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2015年5月8日～ 2015年7月10日	2015年7月11日～ 2015年10月13日
費用控除後の配当等収益額	22,213,556円	58,341,275円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円
収益調整金額	14,214,337円	28,078,302円
分配準備積立金額	—円	22,111,904円
当ファンドの分配対象収益額	36,427,893円	108,531,481円
1万口当たり収益分配対象額	40円	102円
1万口当たり分配金額	—円	—円
収益分配金金額	—円	—円

* 三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

- ① 2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年7月1日)
- ② 2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2015年10月13日現在)

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(25,191,289千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第2期末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	20,906,350 (20,660,000)	20,906,864 (20,660,325)	81.5 (80.5)	— (—)	— (—)	— (—)	81.5 (80.5)	
合 計	20,906,350 (20,660,000)	20,906,864 (20,660,325)	81.5 (80.5)	— (—)	— (—)	— (—)	81.5 (80.5)	

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第2期末				
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第546回国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/10/19	
第547回国庫短期証券	—	610,000	610,000	2015/10/26	
第548回国庫短期証券	—	800,000	800,000	2015/11/2	
第554回国庫短期証券	—	3,110,000	3,110,009	2015/11/30	
第555回国庫短期証券	—	3,500,000	3,500,007	2015/12/7	
第557回国庫短期証券	—	3,640,000	3,640,058	2015/12/14	
第561回国庫短期証券※	—	3,000,000	3,000,186	—	
第563回国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,065	2016/1/18	
第340回利付国債(2年)	0.1	62,600	62,638	2016/5/15	
第342回利付国債(2年)	0.1	100,000	100,078	2016/7/15	
第343回利付国債(2年)	0.1	83,750	83,822	2016/8/15	
合 計		20,906,350	20,906,864		

(注) ※印は現先で保有している債券です。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス	マネー・マーケット・マザーファンド
運用方針	主として日本の金融商品取引所に上場している 不動産株式および不動産投資信託証券に投資す ることにより、資産の中長期的な成長および配当 収益の獲得をめざします。また保有円建て資産に ついて、円売り・米ドル買いの為替取引戦略を活 用することにより、追加的なリターンの獲得をめ ざします。銘柄選定にあたっては、東京圏の経済 活性化により恩恵を受けると期待される銘柄に 投資を行います。不動産株式および不動産投資信 託証券の組入比率は、各々、純資産総額の50%程 度とすることを原則とします。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収 益の確保を図ります。なお、市況動向および資金 動向等により、上記のような運用が行えない場合 があります。
主要運用対象	日本の不動産株式および不動産投資信託証券	わが国の公社債等
主な組入制限	・不動産株式および不動産投資信託証券につい て、同一の発行体が発行する銘柄への投資比率 は、純資産総額の35%以内とします。	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行う ことができます。 ・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行う ことができます。
決算日	毎年9月30日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	原則として毎月分配を行う方針です。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託 財産中に留保し、分配を行いません。

(1) 運用計算書

- (A) Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス
現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。
- (B) マネー・マーケット・マザーファンド
20頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 純資産変動計算書

Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス
現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

(3) 投資有価証券明細表

- (A) Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス
現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。
- (B) マネー・マーケット・マザーファンド
19頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第21期》決算日2015年5月20日

[計算期間：2014年11月21日～2015年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第21期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第21期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	落中率			
	円		%	%	%	百万円
17期(2013年5月20日)	10,174		0.0	84.0	—	2,855
18期(2013年11月20日)	10,178		0.0	87.7	—	2,850
19期(2014年5月20日)	10,180		0.0	84.7	—	2,716
20期(2014年11月20日)	10,183		0.0	84.3	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183		0.0	89.3	—	1,959

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首)	円		%	%	%	%
2014年11月20日	10,183		—	84.3	—	—
11月末	10,183		0.0	90.0	—	—
12月末	10,183		0.0	85.3	—	—
2015年1月末	10,183		0.0	92.4	—	—
2月末	10,183		0.0	82.7	—	—
3月末	10,183		0.0	93.7	—	—
4月末	10,183		0.0	94.2	—	—
(期末)						
2015年5月20日	10,183		0.0	89.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

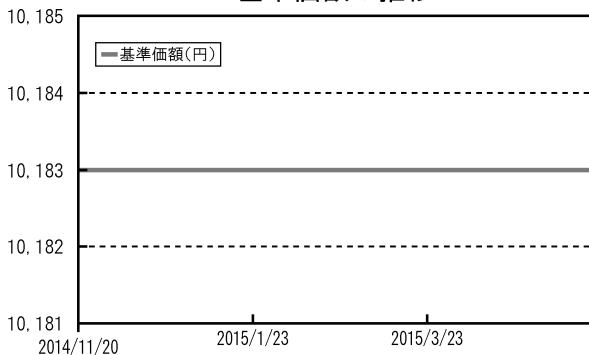
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

期中の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年5月20日のコール・レートは0.069%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益を獲得したものの、組入債券が小幅に下落したことなどから基準価額は横ばいとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2014年11月21日～2015年5月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2014年11月21日～2015年5月20日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 21,730,623	千円 20,430,686 (1,550,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2014年11月21日～2015年5月20日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 7,299	百万円 2,999	% 41.1	百万円 5,999	百万円 700	% 11.7
現先取引(公社債)	14,430	5,350	37.1	14,430	5,350	37.1

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2015年5月20日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率				
					5年以上	2年以上	2年未満		
	千円	千円	%	%	%	%	%	%	
国債証券	1,750,000 (1,400,000)	1,750,095 (1,399,994)	89.3 (71.4)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	89.3 (71.4)	
合計	1,750,000 (1,400,000)	1,750,095 (1,399,994)	89.3 (71.4)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	89.3 (71.4)	

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当			期		末
	利率	額面金額	評価額	償還年月日		
国債証券	%	千円	千円			
第522回国庫短期証券	—	300,000	300,000	2015/7/6		
第532回国庫短期証券	—	1,100,000	1,099,994	2015/8/17		
第331回利付国債(2年)	0.1	200,000	200,050	2015/8/15		
第332回利付国債(2年)	0.1	150,000	150,051	2015/9/15		
合計		1,750,000	1,750,095			

○投資信託財産の構成

(2015年5月20日現在)

項目	当		期		末
	評価額	比率			
	千円			%	
公社債	1,750,095			89.3	
コール・ローン等、その他	210,300			10.7	
投資信託財産総額	1,960,395			100.0	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,960,395,399
コール・ローン等	210,220,805
公社債(評価額)	1,750,095,800
未収利息	78,794
(B) 負債	802,372
未払解約金	802,372
(C) 純資産総額(A-B)	1,959,593,027
元本	1,924,361,734
次期繰越損益金	35,231,293
(D) 受益権総口数	1,924,361,734口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

＜注記事項＞

①期首元本額	2,330,826,446円
期中追加設定元本額	10,374,332,763円
期中一部解約元本額	10,780,797,475円

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド	288,416,273円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	14,525,380円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,727,794円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	101,543円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	81,714,442円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	152,186,197円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	429,650円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	7,467,710円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	485,467,302円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	128,906円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,799,230円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,017,437円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	248,106円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	712,999円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	862,076円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<新興国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	299,514円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	981,935円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	374,779円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	42,384,248円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	35,941,494円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	938,449円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	923,745円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	5,525,461円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	23,152,810円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	5,011,602円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	4,071,402円

○損益の状況 (2014年11月21日～2015年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	414,231
受取利息	414,231
(B) 有価証券売買損益	△ 313,122
売買益	101,626
売買損	△ 414,748
(C) 当期損益金(A+B)	101,109
(D) 前期繰越損益金	42,568,332
(E) 追加信託差損益金	189,850,117
(F) 解約差損益金	△197,288,265
(G) 計(C+D+E+F)	35,231,293
次期繰越損益金(G)	35,231,293

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>	(毎月分配型)	389,070円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>	(毎月分配型)	780,306円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<マネーブルーファンド>		29,100,616円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<円コース>	(毎月分配型)	2,221,253円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<ユーロコース>	(毎月分配型)	1,784,459円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	(毎月分配型)	2,576,702円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	(毎月分配型)	3,148,614円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>	(毎月分配型)	67,305円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<マネーブルーファンド>		3,492,620円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	ユーロ円プレミアム	(毎月分配型)	78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)				2,069,498円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)				1,726,413円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)				1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)				20,706円
三菱UFJ	米国リートファンドA<為替ヘッジあり>		(毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ	米国リートファンドB<為替ヘッジなし>		(毎月決算型)	98,368円
三菱UFJ	UBS グローバル好利回CBファンド2012-11		(円ヘッジ) (限定追加型)	10,816,126円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソ>		(毎月分配型)	47,835,444円
PIMCO	ニューワールド円インカムファンド		(年2回分配型)	168,137円
PIMCO	ニューワールド米ドルインカムファンド		(年2回分配型)	472,643円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>		(年2回分配型)	20,660円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース>		(年2回分配型)	20,637円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>		(年2回分配型)	2,438,810円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>	(毎月分配型)	4,073,259円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<トルコリラコース>	(毎月分配型)	688,506円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<米ドルコース>		(毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>		(毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<トルコリラコース>		(毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり>		(毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>		(毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>		(毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>		(年2回分配型)	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>			(毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>			(毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>			(年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>			(年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<円コース>	(毎月分配型)	15,049,666円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<米ドルコース>	(毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	(毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	(毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>	(毎月分配型)	5,519,741円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<トルコリラコース>	(毎月分配型)	252,058円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>	(毎月分配型)	6,618,213円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<円コース>	(年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<米ドルコース>	(年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	(年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	(年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>	(年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<トルコリラコース>	(年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>	(年2回分配型)	895,906円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<マネーブルーファンドA>		36,583,200円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<マネーブルーファンドB>		980,075円
三菱UFJ	ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>		(毎月決算型)	1,423,307円
三菱UFJ	ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>		(毎月決算型)	3,270,787円
三菱UFJ	ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>		(年1回決算型)	1,168,184円
三菱UFJ	ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>		(年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン	Cコース (為替ヘッジなし)		(年1回決算型)	983円

ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回CBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	151,268円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168,922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,674,507円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	658,018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,991,470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42,906,570円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	8,585,548円
Naviio インド債券ファンド	885,566円
Naviio マネーボールファンド	1,412,300円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	116,474円
MUAM トピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	132,261,881円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	34,396,392円
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)	22,527,760円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	348,621円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	59,905円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10,804円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型)	0円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	0円
MUAM トピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	0円
三菱UFJ バランス・イノベーション (新興国投資型)	0円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式重視型)	0円
合計	1,924,361,734円

【お知らせ】

デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)